

別又谷発電所建設に伴う地域共生促進のためのPRパネル設置事業

1. 補助事業の目的

小水力発電所の意義や仕組み、水資源活用の必要性について伝えることを目的とする。

2. 補助事業の概要

(1) 事業者名

北電技術コンサルタント株式会社

(2) 事業期間

令和5年 11月 21日 ～ 令和6年 2月 26日

(3) 対象地域

富山県魚津市東蔵地区

(4) 対象地域の状況

富山県魚津市は、県東部に位置する人口約4万人の市である。

魚津市の中心を流れる1級河川片貝川は、日本でも有数の急流河川であり、その地形を利用した水力発電所、小水力発電所が多く開発されている。

本発電所建設地点の2級河川別又谷川の上流にも発電所が1基開発されており、貴重な水資源を有効活用している地域である。

(5) 対象発電所

水系・河川名	2級河川片貝川水系別又谷川、一ノ又谷川
発電所名	別又谷発電所
事業者	北電技術コンサルタント株式会社
出力	440kW

3. これまでの取り組み状況と課題

別又谷発電所建設計画推進については、計画当初より魚津市、地域住民、地権者に説明を重ね、建設への一定のご理解を得ながら、順調に工事を進めている。

当発電所は、2020年に「ゼロカーボンシティ宣言」を行っている、富山県魚津市の2級河川片貝川水系別又谷川に建設される。当水系には、これまで、幾つもの水力発電所が建設され、また近隣には有形文化財となっている農業用の円筒分水槽があるなど、古くから水資源を活用した施設があり市では、海と山を巡る水の循環がもたらす恵みを内外に広く発信している。

こうしたことから、発電設備の建設にあたり取水施設には見学できる広さのスペースを設け、安全性に配慮した柵を設けており、今後小水力発電所の仕組みや水資源の活用がわかるPRパネルの製作が必要となる。

4. 実施概要

このPRパネルは小水力発電所の意義や仕組み、水資源の必要性について伝えることや、魚津市や地域住民の方に小水力発電所建設に対する更なる理解促進を目的とし製作することとした。

そこでPRパネルのデザインをするにあたり、魚津市、地元の自治会長の意見・要望を取入れ魚津市の特徴である、「魚津の水循環」について掲載をした。

また、運転開始後には小学生の見学等を実施する計画を、魚津市のイメージキャラクター「ミラたん」を起用し小学生にも馴染みやすいPRパネルを作成した。

製作物諸元

サイズ：H1,200mm×W2,000mm

規格：アルミ複合版 屋内・屋外併用

枚数：1枚 支柱2本



5. 得られた効果

地方自治体（魚津市）・地元住民から発電所建設についての更なる理解促進が見込まれる。

発電所運転開始後には、地元住民の方を招いた発電所見学会を実施予定であり、

また、魚津市と協議し、魚津市が実施している水資源観光ツアーのルートの一部に入れていただくほか市内小学生の見学会の開催を計画している。